

平成27年10月4日執行

豊川市長選挙公報

豊川市選挙管理委員会

(この選挙公報は、候補者から提出された原稿を写真にとりそのま印刷したものです。)

**若者や子どもたちを戦場に送り返しません！
税金はため込みでなく、市民の暮らしに使います**



いまこそ命と暮らしを守る市政を

安倍政権は、「安保法制」をはじめ憲法無視の暴走を続けています。こんなときだからこそ、地方自治体は国の悪政の防波堤の役割を果たさなければなりません。国、県いいなりの市政を変えましょう。

1. 平和都市宣言にふさわしい市政を

「安保法制」に反対し、強行されても廃止を求め続け、豊川の自衛隊から戦死者を出すような「戦争する国づくり」は許しません。

2. 税金は市民の暮らしのために

—— ため込みをやめれば国保料は下げられます

豊川市は市民の税金を96億円もため込んでいます。その一方で、国保料の負担軽減のための市の独自予算は、県下平均12000円に対し豊川市はわずか1900円という暮らしに冷たい市政です。市民の暮らしのために税金を使い、高い国保料を引き下げます。

3. 暮らし密着の経済施策を

住宅リフォーム助成制度や商店街リニューアル助成など、暮らし密着、地元業者優先の経済施策で豊川市の活性化を行います。子どもの医療費無料制度を18歳までに拡大、小中学校全教室への早期エアコン設置など、暮らし応援、子育て応援の市政に転換します。



なか 無所属
むら 中村 ゆう子

67歳

◆プロフィール

1947年山形県生まれ67歳。東京教育大学卒。豊川高校で32年教師として勤務。元民生委員・児童委員。現在「集团的自衛権行使に反対する豊川住民の会」事務局長。新日本婦人の会愛知県本部委員。

投票日 **10月4日(日)**

投票時間 **午前7時から午後8時まで**

投票用紙には、候補者1人の氏名を正確に書いてください。

平成27年10月4日執行

豊川市長選挙公報

豊川市選挙管理委員会

(この選挙公報は、候補者から提出された原稿を写真にとりそのま印刷したものです。)

政策ビジョン4Sのまちづくり

3期目へ、わたしの思い ——

わたしは、市長として2期8年間「市民との対話」を政治姿勢として活動してまいりました。そして対話から得た市民の望みの多くは
家族が将来にわたって、この地に住み続けたいと思うまちづくりです。

そのため、定住人口増を念頭に置き

- 若いお母さん方が暮らしたいと感じる子育て支援の充実
- 雇用の創出に向けた産業の振興
- 交流を生みだす観光、スポーツ、文化芸術の盛んなまちづくり

を重点とし、住みやすさ第一の豊川市を求めて、次の4Sのまちづくりをすすめてまいります。



Smile 笑顔
「子育てするなら豊川市」といわれるまち

Safety 安心
安全安心で活気あふれるまち

Soft やさしさ
人にやさしく健康で自然と共生したまち

Simple わかりやすさ
わかりやすく、無駄のない行政をすすめます



無所属

山 やま

脇 わき

実 みのる

信頼と絆。

山脇 実プロフィール

山脇 実(やまわき みのる)
 昭和19年9月5日生まれ
 昭和38年／愛知県立国府高等学校卒業
 昭和42年／同志社大学経済学部卒業
 平成 7年／豊川市議会議員 初当選
 平成16年／豊川市議会議員 議長(第47代)
 現在 豊川市立三蔵子小学校同窓会会長
 愛知県立国府高等学校同窓会会長
 現 豊川市長
 愛知県市長会副会長
 愛知県国民保健団体連合会理事長

71歳

投票日 10月4日(日)

投票時間 午前7時から午後8時まで

投票用紙には、候補者1人の氏名を正確に書いてください。